

エコアクション21 環境経営レポート

対象期間 2020年11月1日～2021年1月31日



第1版
発行 2021年5月18日



造園・外構・エクステリア
株式会社 熊宮庭苑

目 次

1. 環 境 経 営 方 針	2
2. 組 織 の 概 要	3
3. 環境経営体制図 及び 役割・責任・権限表	4
4. 中長期環境経営目標	5
5. 環境経営計画の実施状況・評価（2020年11月～2021年1月）	6
6. 短期の環境経営目標 及び その実績・評価（2020年11月～2021年1月）	7
7. 環境経営目標の達成状況・評価（2020年11月～2021年1月）	8
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価 並びに違反・訴訟の有無	9
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	9
10. 環境活動等の紹介	10
11. 次年度からの環境経営計画	11



1. 環境経営方針

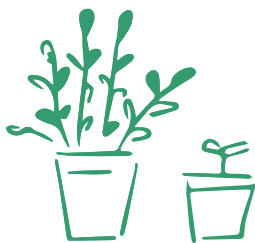
[経営理念]

1. 私たちはお庭で困っている事やお庭の悩みを最善の方法で解決します
2. 私たちはお庭の持っている価値を社会に広めて、住みよい住環境づくりに貢献します
3. 私たちはスタッフ全員で共に成長し、全従業員の物心両面の幸せを追求します

[基本方針]

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

1. 次の課題について環境経営目標・環境経営計画を策定し、定期的に見直しを行い、環境経営の継続的な改善に努めます。
 - ① 電気使用量、及び自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量の削減により二酸化炭素排出量を削減
 - ② 一般廃棄物（燃えるごみ）排出量 及び 産業廃棄物排出量の削減
 - ③ 水使用量の削減
 - ④ 化学物質使用量の削減・適正管理
 - ⑤ 排ガスゼロ・燃料ゼロ・低騒音のため、工具をエンジン式から充電式へ
 - ⑥ 紙使用量の削減
 - ⑦ 「お庭のお手入れ専門窓口」の新設、お庭の緑化の普及推進による地球温暖化の防止
 - ⑧ 地域社会貢献活動の推進
 - ⑨ 教育・訓練の実施
2. 環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
3. 環境経営方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識向上を図ります。



制定日：2020年 11月 1日

株式会社熊宮庭苑

代表取締役 熊宮照男

2. 組織の概要



1. 名称及び代表者名

事業所名 株式会社 熊宮庭苑
代表者名 代表取締役 熊宮照男

2. 所在地

本 社（登記上） 熊本県熊本市東区東町3-2-18
本 店 熊本県熊本市東区東町3-2-3
オレンジガーデン 熊本県熊本市東区東町3-3-3
益城事務所 熊本県上益城郡益城町安永738-21
資材置場 熊本県上益城郡益城町宮園621-3

※本社(登記上)は認証・登録の対象に含まない

3. 環境管理責任者、連絡担当者及び連絡先

環境管理責任者 代表取締役 熊宮照男
連絡担当者 代表取締役 熊宮照男
連絡先 TEL：096-331-3276 FAX：096-331-3277
E-mail：info@kumamiya.com

4. 建設業許可内容

許可番号 熊本県知事 許可（般－30）第15509号
許可の有効期限 平成31年2月28日から平成36（令和6年）年2月27日まで
許可内容の種類 土木工事業、大工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、
タイル・れんが・ブロック工事業、内装仕上工事業、
舗装工事業、とび・土工工事業、建築工事業、屋根工事業、
しゅんせつ工事業、造園工事業
造園工事業は平成15年4月21日から

5. 事業年度 5月～翌年4月末

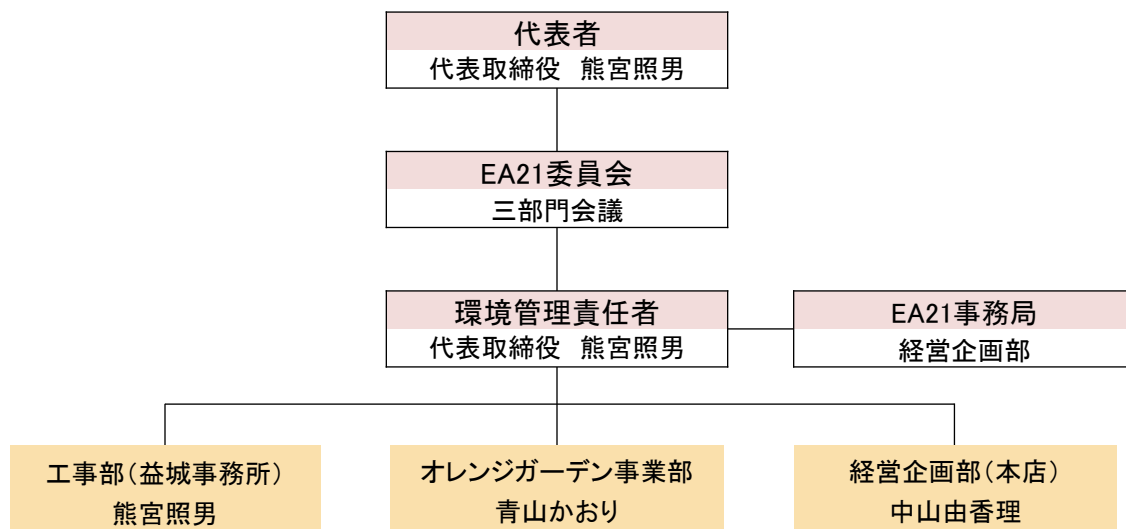
6. 事業の規模 年間総売上高 174.372千円

	本 店	オレンジガーデン	益城事務所	資材置場	合計
従業員	4名	4名	5名	無人	13名
延べ床面積	142㎡	41㎡	49㎡	401㎡	633㎡

7. 認証・登録の対象範囲

1. 事業活動 建設業：土木工事業、造園工事業、建築工事業、とび・土工工事業
2. 対象事業所 本店、オレンジガーデン、益城事務所、資材置場

3. 環境経営体制図 及び 役割・責任・権限表



職名	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人・設備・費用・時間等、経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築・実施・管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・緊急事態への準備及び訓練を実施 ・環境経営レポートの確認
EA21委員会	・毎月1回開催。環境経営目標・環境経営計画の進捗状況確認及び問題点の対策
部門長	・毎月1回、EA21委員会(三部門会議)への参加 ・環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画を自部門全員に周知 ・環境経営目標達成のため、責任をもって自部門の環境活動を推進 ・自部門で発生した問題点の是正処置・予防処置の実施 ・自部門に関連する法規制等の遵守 ・自部門の活動推進・管理
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐 ・EA21文書及び記録類、基礎データの作成・維持・集計・管理 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付、事務局への送付)
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 中長期環境経営目標

2020年度 = 2020年5月～2021年4月

年度 項目		2019年度		単位	2020年度	2021年度	2022年度		
		基準 (※1,2)			目標 (※3)				
		全体 (絶対値)	売上 百万円当り		-0.5%	-1.0%	-1.5%		
①二酸化炭素排出量の削減		kg-CO2	28863	165.5	Kg-CO2/百万円 kg-CO2	164.7 28719	163.9 28575	163.0 28430	
	1.電気使用量の削減	kg-CO2	7382	42.3	Kg-CO2/百万円	42.1	41.9	41.7	
		kWh	19897	114.1	kWh	19797	19698	19598	
	2.ガソリン使用量の削減	kg-CO2	8101	46.5	kg-CO2/百万円	46.2	46.0	45.8	
		L	3492	20.0	L	3474	3457	3439	
	オレンジガーデン(店舗)	kg-CO2	2413	13.8	kg-CO2/百万円	13.8	13.7	13.6	
		L	1040	6.0	L	1035	1030	1025	
	益城事務所(現場)	kg-CO2	5688	32.6	kg-CO2/百万円	32.5	32.3	32.1	
		L	2452	14.1	L	2439	2427	2415	
	3.軽油使用量の削減	kg-CO2	13627	78.2	kg-CO2/百万円	77.8	77.4	77.0	
		L	5282	30.3	L	5256	5229	5203	
	②_1. 一般廃棄物排出量の削減		kg	50730	290.9	Kg/百万円 kg	289.5 50476	288.0 50223	286.6 49969
	②_2. 産業廃棄物排出量の削減		kg	268930	1542.3	Kg/百万円 kg	1534.6 267585	1526.9 266241	1519.1 264896
③水使用量の削減		m3	209	1.2	m3/百万円 m3	1.2 208	1.2 207	1.2 206	
④化学物質使用量の削減 適正管理		-	適正管理			適正管理	適正管理	適正管理	
⑤工具をエンジン式から充電式へ		-	導入			導入推進	導入推進	導入推進	
⑥紙使用量の削減		-	-			削減推進	削減推進	削減推進	
⑦緑化の普及推進		-	普及推進			普及推進	普及推進	普及推進	
⑧地域社会貢献活動の推進 (年1回以上)		回	1		回	1	1	1	
⑨教育・訓練の実施 (年1回以上)		回	1		回	1	1	1	

※1.本店(事務所)2020年5月に新設のため2019年度は推定値を用いて目標を導いた。

※2.本店2019年度が推定値の為、次回より基準年を2020年度に変更。

※3.二酸化炭素排出量の各削減項目 目標値は原単位(百万円当り)。

5. 環境経営計画の実施状況・評価 (2020年11月～2021年1月)

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全く出来なかった

環境活動計画	責任者	評価	本年度の反省と内容	次年度の取組
①_1. 電気使用量の削減				
不要な照明の消灯	熊宮 青山 中山	○	なるべく残業を減らすよう努力した。	継続
待機電力の消灯				継続
空調温度の適正化（室内温度夏25度、冬27度）		○	店舗はサービスの為△、全体的にはできた。	継続
①_2. 自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量の削減				
アイドリングストップ	熊宮 青山	△	一日の作業終了時にトラックの荷台の道具、資	継続
急加速・急発進の防止		○	材ゴミを一旦降ろし、不要な積荷のチェックが	継続
不要な積荷のチェック		◎	できた。常に片付けを心掛けた。	継続
タイヤ空気圧のこまめなチェック		△	定期的にはできていなかった。	継続
①_1.2. による二酸化炭素排出量削減				
上記1.2.の取組による	熊宮	○	意識的に行えた	継続
②_1. 一般廃棄物 排出量の削減				
分別の徹底	青山 中山	○	できている。	継続
事務用品は詰替、補充できるものを優先		○	品目リストを作成する。	継続
②_2. 産業廃棄物 排出量の削減				
分別に努める	熊宮	◎	保管場所の整備を行った。	継続
マニフェストを基に適正な処理を行う		◎	できた。	継続
③. 水使用量の削減				
手洗い、洗い物等での流しっぱなしをしない	熊宮 青山 中山	◎	全社員徹底できた。	継続
節水の工夫		○	消毒時や、トイレ・デソ・花壇の水やり時に意識している。	継続
④. 化学物質使用量の削減・適正管理				
使用量の把握	熊宮	○		継続
希釈倍数を必ず守る		○	使用時、希釈倍数を必ず守る。	継続
⑤. 工具をエンジン式から充電式へ				
充電式工具の導入	熊宮	○	チェーンソー、プロアを充電式に変えた	継続
⑥. 紙使用量の削減				
ペーパーレス化の推進	青山 中山	○	mtg時、プリンター導入で出力紙削減。	継続
裏紙の使用		○	できている。	継続
⑦. 緑化の普及推進				
新築外構工事の際は植栽の提案を100%行う	青山	◎	不要と言われる時もあるが心掛けている。	継続
「お庭のお手入れ」の新設、緑化推進	熊宮	○	会社の一事業として継続する。	継続
⑧. 地域社会貢献活動の推進				
事務所周辺の清掃活動	熊宮	◎	1月東町にて道路清掃実施。	継続
⑨. 教育・訓練の実施				
教育・訓練の実施	熊宮	◎	11月工事部にて安全訓練実施。	継続

6. 短期の環境経営目標 及び その実績・評価 (2020年11月～2021年1月)

項目 \ 年度		2019年度 (11月～1月)		2020年度 (11月～1月)		2020年度 (11月～1月)		達成率		
		基準		目標(-0.5%)		実績				
		全体 (絶対値)	売上 百万円当り	全体 (絶対値)	売上 百万円当り	全体 (絶対値)	売上 百万円当り	全体 (絶対値)	売上 百万円当り	
①二酸化炭素排出量の削減		kg-CO2	6,464	157.1	6,432	156.3	6,372	143.9	100.9%	108.6%
1.電気使用量の削減	kg-CO2	1,808	44.0	1,799	43.7	2,073	46.8	86.8%	93.4%	
	kWh	4,875	118.5	4,850	117.9	5,588	126.2			
2.ガソリン使用量の削減	kg-CO2	1,700	41.3	1,692	41.1	1,739	39.3	97.3%	104.7%	
	L	733	17.8	729	17.7	749	16.9			
オレンジガーデン(店舗)	kg-CO2	492	11.9	489	11.9	450	10.2	108.6%	116.9%	
	L	212	5.1	211	5.1	194	4.4			
益城事務所(現場)	kg-CO2	1,209	29.4	1,203	29.2	1,288	29.1	93.4%	100.5%	
	L	521	12.7	518	12.6	555	12.5			
2.軽油使用量の削減	kg-CO2	2,955	71.8	2,941	71.5	2,561	57.8	114.8%	123.6%	
	L	1,146	27.8	1,140	27.7	992	22.4			
②_1. 一般廃棄物排出量の削減		kg	19868	482.9	19768.7	480.5	10119	228.6	195.4%	210%
②_2. 産業廃棄物排出量の削減		kg	82220	1998.5	81808.9	1988.5	56770	1282.4	144.1%	155%
③水使用量の削減		m3	49	1.2	48.8	1.2	40	0.9	121.9%	131%
④化学物質使用量の削減 適正管理		-	適正管理		適正管理		○		○	
⑤工具をエンジン式から充電式へ		-	導入推進		導入		◎		◎	
⑥紙使用量の削減		-	紙使用量削減推進		紙使用量削減推進		○		○	
⑦緑化の普及推進		-	普及推進		普及推進		◎		◎	
⑧地域社会貢献活動の推進 (年1回以上)		回	1		1		1		◎	
⑨教育・訓練の実施 (年1回以上)		回	1		1		1		◎	

※本店(事務所)2020年5月に新設のため2019年度は推定値。

※本店2019年度が推定値の為、次回より基準年度を変更。

※電気については九州電力2019年度CO2調整後排出係数0.371を使用。

7. 環境経営目標の達成状況・評価 (2020年11月～2021年1月)

① 電気使用量、及び自動車燃料（ガソリン・軽油）使用量の削減により 二酸化炭素排出量を削減する
電気使用量の削減の達成率について、絶対値86.8%・売上高原単位93.4%の要因は、本店の推定値が低かったためである。次年度より本年度の実績を基準値とし、目標値を設定する。 ガソリン使用量における現場（益城事務所）の達成率、絶対値93.4%は10月より1名施工スタッフが増員され、2部隊での行動となったため。売上高原単位では100.5%と達成しているため、今回の計画を継続する。
② 一般廃棄物（燃えるごみ）及び産業廃棄物排出量の削減
大幅達成。工事内容、規模などにより結果は大きく左右される。
③ 水使用量の削減
達成。引き続き、節水や水の再利用方法を検討する。
④ 化学物質使用量の削減・適正管理
今回は購入量と在庫のみ把握した。次年度より使用量も把握する。
⑤ 排ガスゼロ・燃料ゼロ・低騒音のため、工具をエンジン式から充電式へ
導入できた。
⑥ 紙使用量の削減
全体的に裏紙使用が増えた。
⑦ 「お庭のお手入れ専門窓口」の設立、お庭の緑化の普及推進による地球温暖化の防止
「お庭のお手入れ専門窓口」を設立した。
⑧ 地域社会貢献活動の推進
オレンジガーデンと本店周辺の清掃活動を行った。
⑨ 教育・訓練の実施
全従業員への環境経営システムの教育・周知と、工事部にて安全訓練を各1回ずつ行った。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価 並びに違反・訴訟の有無

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

法の改定等について EA21プラザ等で確認し、適宜更新する。

適用される法規制	該当する設備・項目	届出・報告・証拠	遵守結果	確認
建設リサイクル法	建設資材（コンクリート・アスファルト）のリサイクル	届出書	○	1月5日 熊宮
	リサイクル資材（コンクリート・アスファルト）の活用	購入証明書提出	○	1月5日 熊宮
廃棄物処理法	一般廃棄物（樹木・草類）	検収伝票	○	1月5日 熊宮
	産業廃棄物（コンクリート・アスファルト）	契約書、許可証 マニフェスト	○	1月5日 熊宮
	収集運搬（自社運搬）	産業廃棄物運搬表示	○	1月5日 熊宮
農薬取締法	薬品保管庫（トボーン乳剤・スミチオン乳剤・ハース液剤etc.）	在庫管理表の常備	○	1月5日 熊宮
フロン排出抑制法	業務用空調機	点検記録	○	11月11日 柴田
家電リサイクル法	家庭用エアコン・電気洗濯機 電気冷蔵庫	廃棄時	—	—
小型家電リサイクル法	パソコン・小型カメラ・スマホ 携帯電話・電源アダプタ	廃棄時	—	—

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
違反・訴訟・苦情などもこれまでありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

- ① 二酸化炭素排出量の削減について、全世界的な動きの中で、引き続き全社員で意識的に取り組む。
- ② 一般廃棄物（燃えるごみ）排出量及び産業廃棄物排出量の削減について、工事の内容により排出量は大きく増減するが、分別、一時保管のルール遵守は確実に実施する。
- ③ 節水は全社員できている。消毒時の散布量に無駄がないように努力する。
- ④ 化学物質については、希釈倍数を確実に守り適正管理を行っていく。
- ⑤ 工具はチェーンソーとブロア等の機械を充電式にした。今後、他の機械についても導入していきたい。
- ⑥ ペーパーレス化は社内打合せ時のプロジェクター使用により行えている。今後も継続する。
- ⑦ 「お庭のお手入れ専門窓口」は2月に新設。今後も緑に携わる事業者として緑化活動を推進していく。
- ⑧ 社会貢献として、清掃活動は引き続き年1回以上実施する。
- ⑨ 環境経営方針、実施体制は変更しない。環境経営目標は電力削減については2020年度の実績を基準として設定する。環境経営計画は3項目「品目リスト」「節水シール」「消毒時、散布量に無駄がない様努める」を追加する。

評価見直しの実施日：2021年 5月 1日

代表取締役 熊宮照男

10. 環境活動等の紹介



緊急事態訓練（年1回）



安全会議（月1回）



お庭の緑化勉強会



環境経営システム勉強会



1月 清掃活動



11. 次年度からの環境経営計画

方針	目 標	目標達成手段	責任者
①二酸化炭素 排出量削減	電気使用量の削減	・ 不要照明の消灯 ・ 待機電力の消灯 ・ 空調温度の適正化（室内温度夏25度、冬27度）	全部門 熊宮 青山 中山
	自動車燃料 (ガソリン・軽油) 使用量の削減	・ アイドリングストップ ・ 急加速・急発進の防止 ・ 不要な積荷のチェック ・ タイヤ空気圧のこまめなチェック	熊宮 青山
②廃棄物 排出量削減	一般廃棄物 排出量の削減	・ 分別の徹底 ・ 事務用品は詰替、補充できるものを優先 ・ 品目リストの作成・共有・活用 ★追加	青山 中山
	産業廃棄物 排出量の削減	・ 分別に努める ・ マニフェストを基に適正な処理を行う	熊宮
③水使用量 削減	水使用量の削減	・ 手洗い、洗い物等での流しっぱなしをしない ・ 節水の工夫 ・ 節水シールの貼付 ★追加 ・ 消毒時、散布量に無駄がない様努める ★追加	全部門 熊宮 青山 中山
④化学物質 使用量	化学物質使用量の 削減・適正管理	・ 使用量の把握 ・ 希釈倍数を必ず守る	熊宮
⑤工具	工具をエンジン式 から充電式へ	・ 充電式工具の導入	熊宮
⑥紙使用量 削減	紙使用量の削減	・ ペーパレス化の推進 ・ 裏紙の使用	青山 中山
⑦緑化	緑化の普及推進	・ 新築外構工事の際は植栽の提案を100%行う ・ [お庭のお手入れ専門窓口]の維持、緑化普及推進	熊宮 青山
⑧地域社会 貢献活動	地域社会貢献活動の推進	・ 事務所周辺の清掃活動	熊宮
⑨教育・訓練	教育・訓練の実施	・ 全従業員、工事部だけの教育・訓練の実施	熊宮



〒862-0901 熊本市東区東町3-2-18
TEL : 096-331-3276
FAX : 096-331-3277
Mail : info@kumamiya.com
URL : kumamiya.co.jp
orange-g.jp



造園・外構・エクステリア
株式会社 熊宮庭苑



ガーデン&エクステリア専門店
オレンジガーデン